

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		市街地の再開発促進事業			20年度予算コード	003	整理番号	444	枝番号				
担当部課名	都市整備部まちづくり推進課		コード	220509	昨年度 整理番号	513							
係名	拠点整備係		連絡先 電話番号	3372									
上位施策名		No	4	都市機能の充実									
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	44 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	7
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 市街地再開発事業などの民間再開発等を行うとする者		(1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区市街地再開発事業補助金交付要綱 (3) 杉並区優良再開発型優良建築物等整備事業補助金交付要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	民間再開発等の相談指導と助成制度を使って支援をしていく		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 民間再開発事業を実現する									
	活動指標名(式)	(1) 民間再開発等に関する助成金額 (2) 民間再開発等に関する相談・指導回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 再開発準備組織数 (2) 民間再開発等事業完了地区数									
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/				
	活動指標(1)	千円	0	104,010	104,000	4,600	500,200	20.8					
	活動指標(2)	回	156	150	145	150	150	96.7					
	成果指標(1)	団体	0	1	0	1	4	0.0					
成果指標(2)	地区	0	0	0	0	4	0.0						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,171	104,531	104,301	5,121	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	945	104,010	104,000	4,600							
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.50	0.60	0.61	0.60	事業費の減額(20年度) 優良再開発型優良建築物の整備に対し、事業に要する費用の一部を助成する。しかし、出来高払いの関係上、昨年度よりも減額となる。 活動指標(1)、成果指標(1)、(2)は累計実績であり、19年度までの成果指標(1)の実績は3件(75%)、成果指標(2)の実績は3件(75%)である。活動指標(1)に関しては初年度なので、累計実績金額は表中と同じである。						
	人件費	千円	13,590	5,484	5,575	5,484							
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0							
	非常勤職員分	千円											
	総事業費 + +	千円	14,761	110,015	109,876	10,605							
	単位あたりコスト( - )÷	円		1,058	1,057	2,305							
	財源	受益者負担分	千円										
国・都等からの支出金		千円		52,005	52,000	2,300							
特定財源計 +		千円	0	52,005	52,000	2,300							
差引:一般財源 -		千円	14,761	58,010	57,876	8,305							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物等整備事業		1	件	104,000								
	他団体負担金		2	団体	110								
	その他 ( )				191								

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 444 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	96.7	19年度予算 執行率%	99.8
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		複雑化、多様化するまちづくり制度の有効な活用を図るため、他都市の実例把握、情報収集などを行うとともに、東京都との調整を行った。 再開発準備組織に対し、まちづくりの具体化に向けて助言指導を行った。また民間再開発事業の促進を図るため、共同建替整備助成費支援を行った。20年度も引き続き、共同建替整備事業に要する費用の一部を助成するが、出来高払いの関係上、予算を減額した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	個人財産に影響を及ぼす事業であり、権利の調整が難しい事業である。経済の低迷時には事業採算も難しく、事業化に至らないものも多い。都市再生は国の重要な事業であり、様々な制度が創設されている。これら複雑化した制度の活用や誘導など、適切な対応が求められてくる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事業施工者は、事業推進に向けて助成の拡充を求めている。その一方で、近隣住民からは再開発は住環境の変化が著しく、影響が大きいという意見がある。					
	今後の予測	地価の変動をはじめ、経済動向などの社会情勢の影響を大きく受けながら推進して行く予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:再開発事業の実現に向けて活動していくことは、将来の都市機能の充実に結びつくものであり、施策への貢献が大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:民間再開発事業は、地元地権者が主体となって推進する事業であるため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:住民団体を組織化することでは、受益者負担はなじまない。また、事業化の際は、国要綱等により、補助の対象、内容、割合が定められており、事業実施者も一定の負担をする。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:経常的に計上している経費は事務経費が主である。また、将来事業化が計られた際の補助金についても、国要綱等に基づいて算出するため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物等整備事業に対して、区は補助制度を活用し、その事業費の一部の助成支援を行った。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 再開発等を目指した地権者による準備組織が、地域の特性に応じたまちづくりの具体化に向けてさらに推進できるよう、有効な助言・指導を行い、合わせて関係機関との調整を図るとともに、国や都と連携を図り再開発等を助成していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 再開発等の構想づくりや計画づくりを行っていくにあたり、再開発準備組織は専門家による調査・研究・助言などが必要となるが、その費用の調達方法が困難であり、活動を進めて行く上で大きな障害となっている。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 公共施設整備の比重の大きい民間再開発の活動に対して、より推進できるよう支援(助成)の拡充について検討して行きたい。 また、現在助言・指導している団体が再開発の実現に向けて前進する可能性があるため、補助制度を活用し、事業費の一部を助成し支援していく。		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		永福町駅周辺整備			20年度予算コード	013	整理番号	450	枝番号	1			
担当部課名	都市整備部拠点整備担当課			コード	220309	昨年度 整理番号	568						
係名	拠点整備担当係			連絡先 電話番号	3373								
上位施策名		No	4	都市機能の充実									
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		18年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	6
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 当該駅を横断する踏切等の利用者及び当該駅利用者				根拠法令等 (1) 地方自治法第281条第2項 (2) 杉並区まちづくり基本方針 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区と鉄道事業者が、国の補助事業を活用して、駅舎橋上化、駅前広場の整備、南北自由通路の設置、バリアフリー設備の設置を行う。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 踏切による交通混雑緩和、バリアフリー施設の設置で、当該駅周辺の安全性と利便性の向上を図る。						
	活動指標名(式)	(1) 南北自由通路設置補助金額 (2) 南北自由通路調査・設計委託補助金額					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 南北自由通路設置進捗率(実績累計 ÷ 目標値) × 100 (2) (代) 調査・設計進捗率(実績累計 ÷ 目標値) × 100						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%					
	活動指標(1)	千円	0	150,000	0	156,000	696,400	0.0					
	活動指標(2)	千円	3,150	36,400	36,400	0	39,550	92.0					
	成果指標(1)	%	0.0	21.5	0.0	22.4	100.0	0.0					
成果指標(2)	%	8.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,150	186,530	36,400	6,130	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円	3,150	186,400	36,400	6,000							
	(内) 委託費	千円	3,150	0	0	0							
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.40	1.20	1.23	2.00	19年度計画額は、18年度繰越額 36,400千円を含む。 20年度は、19年度繰越額 150,000千円(うち国庫補助金 75,000千円)及び20年度計画額 6,130千円(うち国庫補助金 3,000千円)を執行。						
	人件費	千円	3,624	10,968	11,242	18,280							
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0							
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0							
	総事業費 + +	千円	6,774	197,498	47,642	24,410							
	単位あたりコスト( - ) ÷	円		74		118							
	財源	受益者負担分	千円										
国・都等からの支出金		千円	1,000	93,200	18,200	3,000							
特定財源計 +		千円	1,000	93,200	18,200	3,000							
差引: 一般財源 -		千円	5,774	104,298	29,442	21,410							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	永福町駅 南北自由通路新設基本・実施設計補助		1	式	36,400								
	その他 ( )				0								

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 450 枝番号 1

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	19.5
		永福町駅南北自由通路の南側降り口位置の決定に多大な時間を要したため、設計着手が遅れ、当該年度予定の南北自由通路整備について着手することが出来なくなったため、翌年へ繰り越した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		事業を計画通り進めて行くために、随時、鉄道事業者と協議・調整を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	駅の南北アクセス機能がかけており、駅に隣接し大変混雑する踏み切りの解消が長年の課題となっており、地域住民からも要望を受けていた。京王電鉄では、駅舎橋上化及び南北自由通路整備に併せて、駅ビルの建設を予定しており、平成20年度より着手する予定である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	地域住民から、南北アクセスについて期待されており、事業の早期実現が望まれている。					
	今後の予測	永福町駅の駅舎橋上化及び南北自由通路は平成21年度末の完成に向けて、京王電鉄と進行管理及び協議を進める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 踏み切りの混雑が解消され、バリアフリー施設の設置で駅周辺の安全性・利便性が高められる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 鉄道事業者と協議しながら事業が計画通り進むよう調整して行く。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 施工にあたっては、資源の再利用や省エネルギーに努め、工事期間の短縮、工事費の縮減を図っている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 踏切等による地域の分断を解消するため、駅舎を橋上化し南北自由通路を設置する。駅舎は京王電鉄が単独施工し、自由通路に関しては、京王電鉄に設計・建設費の一部を区が補助する。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業が実施計画どおり通り進むよう、国、都や鉄道事業者等と調整して行く。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業を計画通り進めて行くために、随時、鉄道事業者と協議調整を行うとともに、国や都と連携を図っていく。 永福町駅の南口と北口との地域分断の解消を図るため、駅舎の橋上化、南口の開設や自由通路整備を行う。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		西永福駅周辺整備			20年度予算コード	整理番号	450	枝番号	2		
担当部課名	都市整備部拠点整備担当課		コード	220309	昨年度 整理番号	568					
係名	拠点整備担当係		連絡先 電話番号	3373							
上位施策名		No	4	都市機能の充実							
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		17 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号	事業コード	6
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 当該駅を横断する踏切等の利用者及び当該駅利用者		(1) 地方自治法第281条第2項 (2) 杉並区まちづくり基本方針 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区と鉄道事業者が、国の補助事業を活用して、駅舎橋上化、駅前広場の整備、南北自由通路の設置、バリアフリー設備の設置を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 踏切による交通混雑緩和、バリアフリー施設の設置で、当該駅周辺の安全性と利便性の向上を図る。					
	活動指標名(式)	(1) 自由通路整備補助+駅前広場整備金額 (2) 駅舎橋上化補助金額				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 自由通路及び駅前広場進捗率 (累計金額 ÷ 目標値) × 100 (2) (代) 駅舎橋上化進捗率 (累計金額 ÷ 目標値) × 100					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	千円	0	414,000	348,932	64,051	432,200	80.7			
	活動指標(2)	千円	0	98,600	98,600	0	101,941	96.7			
	成果指標(1)	%	4.2	100.0	84.9	100.0	100.0	84.9			
総事業費・コスト把握	成果指標(2)	%	3.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	事業費	千円	1	512,700	447,555	0	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	0	512,600	447,532	0					
	(内) 委託費	千円	0	0	1,732	0					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.10	1.50	1.59	1.00	19年度計画額は、18年度繰越額 243,300千円を含む。 20年度は、当初予算としては計上がないが、19年度繰越額 64,051千円(うち国庫補助金額 18,000千円)にて「西永福駅前広場整備及び公衆便所改築工事」を施行。  自由通路整備は補助金であるが、駅前広場整備は杉並区が事業主体となり整備する。				
	人件費	千円	906	13,710	14,533	9,140					
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0					
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	907	526,410	462,088	9,140					
	単位あたりコスト( - ) ÷	円		33	42	143					
財源	千円		191,600	173,600	0						
受益者負担分	千円		191,600	173,600	0						
国・都等からの支出金	千円	0	191,600	173,600	0						
特定財源計 +	千円	907	334,810	288,488	9,140						
差引: 一般財源 -	千円	0.0	0.0	0.0	0.0						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	西永福駅南北自由通路新設補助		1	式	347,200						
	西永福駅駅舎橋上化に伴う移動円滑化施設補助		1	式	98,600						
	西永福駅前広場公衆便所改築設計委託		1	式	1,732						
	その他 (国庫補助及び駅周辺の施設整備に係る事務経費)				23						

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 450 枝番号 2

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	84.3	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	87.3
		西永福駅南北自由通路新設工事が、支障物の移設工事に時間を要し、橋上駅舎化工事に関しても、鋼材製作品の納期が遅れたことにより全体工期に遅れが生じたため、最後に整備する駅前広場整備及び公衆便所改築の年度内完了が困難になったため、翌年へ繰り越した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		事業を計画通り進めて行くために、随時、鉄道事業者と協議・調整を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	駅の南北アクセス機能がかけており、駅に隣接し大変混雑する踏み切りの解消が長年の課題となっており、地域住民からも要望を受けていた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	地域住民から、南北アクセスについて期待されており、事業の早期実現が望まれている。					
	今後の予測	遅れが生じた、西永福駅前広場整備及び公衆便所改築工事は、平成20年7月末日に完成する予定である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 踏み切りの混雑が解消され、バリアフリー施設の設置で駅周辺の安全性・利便性が高められる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 鉄道事業者と協議しながら事業が計画通り進むよう調整して行く。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 施工にあったっては、資源の再利用や省エネルギーに努め、工事期間の短縮、工事費の縮減を図っている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 踏切等による地域の分断を解消するため、駅舎を橋上化し南北自由通路を設置する。駅舎の一部(バリアフリー関連施設)については第三セクターに対し設計・建設費の一部を補助し、自由通路に関しては、京王電鉄に設計・建設費の一部を補助した。駅前広場の施工は杉並区にて施工し、平成20年7月末日に完成する予定である。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業が計画どおり進むよう、国、都や鉄道事業者等と調整し、進行管理を随時行っていく。 踏切等による地域の分断を解消するための駅舎橋上化及び南北自由通路の整備は、平成20年3月に完成。 駅前広場整備及び公衆便所改築においても、平成20年7月に完成予定。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 支障物等により、工事が遅れており工法を見直すことで全体工期を延伸しないよう、鉄道事業者との進行管理を密に調整していく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 踏切等による地域の分断を解消するための駅舎橋上化及び南北自由通路の整備は、平成20年3月に完成。駅前広場整備及び公衆便所改築についても、平成20年7月に竣工する予定であり、当該事業は完了する。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		下井草駅周辺整備			20年度予算コード	整理番号	450	枝番号	3		
担当部課名	都市整備部拠点整備担当課	コード	220309		昨年度 整理番号	568					
係名	拠点整備担当係	連絡先 電話番号	3373								
上位施策名		No	4		都市機能の充実						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(1)	施策番号	事業コード	6
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(1) 地方自治法第281条第2項 (2) 杉並区まちづくり基本方針 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区と鉄道事業者が、国の補助事業を活用して、駅舎橋上化、駅前広場の整備、南北自由通路の設置、バリアフリー設備の設置を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 踏切による交通混雑緩和、バリアフリー施設の設置で、当該駅周辺の安全性と利便性の向上を図る。					
	活動指標名(式)	(1) 南北自由通路整備金額累計 (2) 橋上駅舎化補助金額累計				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 南北自由通路進捗率 (整備金額累計 ÷ 協定金額) × 100 (2) (代) 橋上駅舎化進捗率 (補助金額累計 ÷ 交付決定金額) × 100					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	千円	477,900	500,200	500,088	0	500,200	100.0			
	活動指標(2)	千円	93,856	93,856	93,856	0	93,856	100.0			
	成果指標(1)	%	95.5	100.0	100.0	0.0	100	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	518,382	22,400	22,188	0	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  平成19年7月 整備完了				
	(内) 投資的経費等	千円	518,363	22,300	22,188	0					
	(内) 委託費	千円	436,950	22,300	22,188	0					
	職員数 (常勤   非常勤)	人	1.13	0.20	0.26	0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,238	1,828	2,376	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	528,620	24,228	24,564	0					
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	21	4	5						
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	124,000	6,000	6,000	0				
特定財源計 +		千円	124,000	6,000	6,000	0					
差引: 一般財源 -		千円	404,620	18,228	18,564	0					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	下井草駅 駅前広場整備		1	式	22,188						
	その他 ( )				0						

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 450 枝番号 3

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	99.1
		下井草駅 駅前広場整備工事が平成19年7月に完成し、事業完了した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		事業を計画通り進めて行くために、随時、鉄道事業者と協議・調整を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	駅の南北アクセス機能がかけており、駅に隣接し大変混雑する踏み切りの解消が長年の課題となっており、地域住民からも要望を受けていた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	地域住民から、南北アクセスについて期待されており、事業の早期実現が望まれている。					
	今後の予測	下井草駅周辺整備は、平成19年7月に事業完了した。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 踏み切りの混雑が解消され、バリアフリー施設の設置で駅周辺の安全性・利便性が高められる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 鉄道事業者と協議しながら事業が計画通り進むよう調整して行く。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 施工にあたっては、資源の再利用や省エネルギーに努め、工事期間の短縮、工事費の縮減を図っている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 踏切等による地域の分断を解消するため、駅舎を橋上化し南北自由通路を設置した。駅舎については区と西武鉄道が共同出資した下井草駅整備株式会社を設立し、建設・管理を行い区は設計・建設費の一部を補助している。自由通路・駅前広場の施工は、西武鉄道に事業委託し施工した。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 下井草駅周辺整備は、平成19年7月に整備完了した。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 下井草駅周辺整備は、平成19年7月に整備完了した。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	下井草駅周辺整備は、平成19年7月に整備完了した。



# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		荻窪駅周辺整備			20年度予算コード	16	整理番号	451	枝番号	
担当部課名	都市整備部まちづくり推進課		コード	220509		昨年度 整理番号	514			
係名	拠点整備係		連絡先 電話番号	3372						
上位施策名		No	4	都市機能の充実						
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		1 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 1 施策番号 2 事業コード 6 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 都市計画法 (2) 都市再開発法 (3) 杉並区まちづくり基本方針						
	駅周辺地区			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 駅周辺が、周辺住民及び駅利用者にとって安心して利用できる地区となるよう、整備計画を策定するとともに具体化を図る。						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	地元住民への周知・啓発活動及び関係事業者等との打合せを行う。 まちづくりについての調査研究、立案及び他機関との調整を行う。		活動指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 地元住民への周知及び関係事業者等との打合せ回数 (2) 研究会・検討会等の開催回数						
成果指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備構想(整備計画)の策定数 (2) 立案により、具体化が図られた事業箇所							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	回	30	36	33	36	36	91.7		
	活動指標(2)	回	10	20	15	20	20	75.0		
	成果指標(1)	件	1	1	1	1	4	25.0		
	成果指標(2)	箇所	0	1	0	1	2	0.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	8,005	11,428	2,676	10,628	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  19年度は駅前広場内の係争地裁判未決着により、緑化工事予算が執行できなかった。20年度は駅南北自由通路拡幅の基本計画設計の作成委託費が増となっている。 今年度より事務事業名及び事業規模が変更になったため、成果指標を荻窪駅周辺で行われる事業数に変更した。 成果指標(1)、(2)は累計実績であり、19年度までの(1)の実績は2件(50%)、(2)の実績は0件(0%)である。			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	7,822	10,800	2,625	10,000				
	職員数(常勤   非常勤)	人	3.10	2.40	2.46	2.40				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	28,086	21,936	22,484				21,936
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 ++	千円	36,091	33,364	25,160	32,564				
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,203,033	926,778	762,424	904,556				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	36,091	33,364	25,160	32,564				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	荻窪駅東口南北自由通路拡幅等整備方針案作成委託		1	件	2,625					
	その他 ( )				51					

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 451 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	91.7	活動指標(2)の 19年度達成率%	75.0	19年度予算 執行率%	23.4
	19年度に荻窪駅北口広場整備の緑化工事を予定し、その工事費を予算計上していたが、係争地の建物収去土地明渡し裁判の継続から計画通りの施工実施には至れなかった。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	20年度は南北自由通路拡幅等整備に向け、鉄道事業者との協議を継続し、基本計画案(調査・設計の委託内容が高度化)を策定する。駅前広場整備について、都及び関係機関等と協議・調整を行うが、係争地裁判の継続のために計画は進んでいない。 上荻一丁目まちづくりについて、昨年度配布したまちづくり方針案を基に地域の方々に啓発すると共に、まちづくりの助成制度を使い、新たなまちづくり組織の立ち上げを支援していく。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	駅周辺整備の進捗に対し、住民の意識・関心などが高揚し、国の補助制度も新設・拡充や規制緩和等が図られ、事業を推進しやすい環境となっているが、駅前広場内の係争地裁判の継続により、事業が進みづらい状況となっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	駅前広場整備の早期実現をして欲しい。 南北自由通路の拡充と駅周辺の回遊性を高めて欲しい。
	今後の予測	誰もが安全で安心して行動できる、人にやさしいまちづくりの機運がさらに高まり、鉄道事業者による駅舎改良なども連動し、駅周辺機能の充実が図られ、南北の回遊性、バリアフリー化等が推進される。

事業のあり方 点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 駅周辺という誰もが利用する区域の快適性、安全性、利便性を向上するための計画策定事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 国や都など関係機関との調整や区民要望の集約など、計画策定に向け地道な進捗が見られた。しかし、今後の状況等によって、事業費の増加が必要となる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 計画策定事業であるため、受益者負担にならない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 経常的に計上している予算は、主に資料作成等に要するコピー、印刷物等の事務費であり、コスト減の余地はない。

協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 上荻一丁目地区のまちづくりについて、地区の方々の発想に基づいて作成されたまちづくり方針案を基に、調整・情報交換が継続している。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )	計画策定事業は、国・都及び鉄道事業者等関係機関との調整や地元の要望を組み入れながら、進める必要があり、区が行うべきと考える。ただし、策定に必要な資料等の作成など、業務の一部を委託する必要がある。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 計画策定にあたっては、国・都および関係機関等との十分な協議・調整を行うとともに、さまざまな場面・段階での住民参加を図ることで事業の推進に努める。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民等からさまざまな意見・要望がだされ、事業の進捗に支障が生じることも考えられる。そこで、区民等への十分な情報提供や説明会開催などを積極的に行う。		

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 南北自由通路拡幅等整備に向け、基本・実施設計を策定するための予算増を想定しているが、駅前広場内係争地裁判の継続、協議会の進行状況により、予算の減も考えられる。 また住民参加によるまちづくりを推進するためには、専門性、高度の知識と分析力などが必要となり、コンサルタントへ調査委託するための予算増を想定している。	

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高円寺駅周辺整備			20年度予算コード	14	整理番号	468	枝番号
担当部課名	建設課	コード	221003		昨年度 整理番号	569			
係名	街路整備係	連絡先 電話番号	3435						
上位施策名		No	4		都市機能の充実				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		17年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 (1) 施策番号 事業コード 6			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 高円寺駅及び周辺道路利用者(車両、沿道住民等すべてを含む)				根拠法令等 (1) 道路法16条1項 (2) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (3) 道路移動等円滑化基準			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため駅前広場や周辺道路の整備を行う。 駅前広場の整備は、平成20～22年度で行い、随時供用開始する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 駅前広場としての機能の充実や、地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため、駅前広場や周辺道路の整備を行い、まちの活力を向上させる。			
	活動指標名(式)	(1) 個別(北口・南口)広場整備完成面積 (2) 高円寺駅周辺整備完成面積				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 個別広場整備完成率(個別完成面積÷個別計画面積)×100 (2) 高円寺駅周辺整備完成率(完成面積÷計画面積)×100			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	㎡	0	0	0	1,680	6,232	0.0	
	活動指標(2)	㎡	0	0	0	1,680	9,362	0.0	
	成果指標(1)	%	0	0	0	27	100	0.0	
	成果指標(2)	%	0	0	0	18	100	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	9,989	18,591	14,915	166,607	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円	9,975	18,400	14,915	166,607			
	(内)委託費	千円	9,975	18,400	14,910	166,500			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.64	0.64	0.64	0.75			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,798	5,850	5,850	6,855		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	15,787	24,441	20,765	173,462			
	単位あたりコスト( - )÷	円				4,080			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	4,400		
特定財源計 +		千円	0	0	0	4,400			
差引:一般財源 -		千円	15,787	24,441	20,765	169,062			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	高円寺駅前広場整備実施設計委託		1	式	14,910				
	高円寺駅周辺の町会並びに商店会の代表者による懇談会の開催		3	回	5				
	その他 ( )				0				

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 468 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	80.2
		当初の計画どおり、実施設計や懇談会の運営など適正に行われた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		地域住民の意向を反映させた駅前広場整備実施設計を行うため、高円寺駅隣接の町会並びに商店会の代表者16名で構成する懇談会を3回開催した。また、交通管理者、交通事業者との協議を重ねた。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	高円寺駅舎のバリアフリー対策の完了及びホテル建設が完了しオープンした。座・高円寺(杉並芸術会館)が平成21年度に開館予定である。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	駅前広場について、商店や地域の活性化を図るため、高円寺をイメージする演出、水や緑による個性の創造、憩いの場やイベントが行える空間の整備などの要望が寄せられている。				
	今後の予測	交通機能が集中する駅前広場の工事となるため、地域住民や駅利用者の理解と協力が欠かせない。また、関係機関との十分な調整・協議が必要である。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 地域住民・駅利用者の利便性と安全で快適な歩行空間が確保され、まちの活力向上を図ることができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 懇談会等を活用し、地域住民等の意見を取り入れる機会を多く設け、事業への理解と満足度の向上を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 駅周辺の整備事業であり受益者を特定できない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 計画・設計・積算の各段階で基準に基づき最適な方法を選択している。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 計画策定・調査設計・施工各々について企業に委託している。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	また、今後は、説明会・懇談会等を通じ、地域住民との協議の中で協働作業による管理のあり方などの検討が求められる。				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 駅前広場は平成20年度から3カ年計画で工事を施工するが、交通機能が集中する駅前広場であることから、円滑な工事の進捗を図るには地域住民や交通事業者、交通管理者との関係が必要である。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在行っている懇談会を工事期間中も継続することで地域住民の工事等に対する要望を把握することができる。また、交通事業者、交通管理者などと定期的な調整を行っていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成20年度から3カ年は、整備工事の実施期間となる。	

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		井荻駅周辺整備		20年度予算コード	015	整理番号	469	枝番号				
担当部課名	都市整備部建設課		コード	221001		昨年度 整理番号						
係名	計画調整係		連絡先 電話番号	3422								
上位施策名		No	4	都市機能の充実								
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		19 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業                 分野                 政策番号 (1)                 施策番号                 事業コード 6						
	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 井荻地下歩道利用者				根拠法令等 (1) 道路法第16条1項 (2) 高齢者、障害者等の移動の円滑化の促進に関する法律 (3) 道路移動等円滑化基準						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	19年度は歩行者・エスカレーター利用者等の交通量調査及びヒアリング調査を行い、課題の整理及び概略図面、概算事業費等の資料作成を行った。20年度は改善方針について都と協議する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 井荻地下歩道利用者の利便性の向上、より一層のバリアフリー化を図る。						
	活動指標名(式)	(1) ヒアリング調査をした人数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 井荻地下歩道利用者のうち不便さを感じる割合 (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%	/			
	活動指標(1)	人			288							
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%			66.3							
総事業費・コスト把握	事業費	千円		2,000	1,943	1,010	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円		2,000	1,943	1,000						
	職員数(常勤   非常勤)	人		0.20	0.21	0.20	今後、都と協議して改善方針を決めるので、20年度以降の計画や目標値などは設定できない。					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	1,828	1,919				1,828		
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0		
	総事業費 + +	千円	0	3,828	3,862	2,838						
	単位あたりコスト( - )÷	円			13,410							
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	0	3,828	3,862	2,838						
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)							
	井荻地下歩道利用状況調査等委託				1,943							
	その他 ( )				0							

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 469 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	97.2
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		新規事業であり、前年度の改革案はない。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	新規事業であり、事業開始当初からの変化はない。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	井荻地下歩道は北側・南側ともに、上りエスカレーターしか無く、高齢者や車椅子の方が利用しづらい。				
	今後の予測	超高齢化社会となって行く中で、地下歩道の利便性の向上は必要不可欠である。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由： 井荻地下歩道の利用をより安全で快適なものにできる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容： 理由または具体的内容： 都との協議内容によっては、21年度以降に事業費(設置工事費)の負担が発生する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 井荻地下歩道は公道であり、受益者負担の考えはない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容： バリアフリー化を図るには、ある程度の初期投資が必要である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( へ )	協働等の今後のあり方：	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( へ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 歩行者・エスカレーター利用者等の交通量調査及びヒアリング調査を行い、課題の整理及び概略図面、概算事業費等の資料作成				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度は都と改善方針について協議を行う。	
21年度方針	(2) 理由 20年度の都との協議内容によっては、バリアフリー化に必要な事業費の負担が発生する。	